

教養科目

科目名	教育学	サービスラーニング 関連度	B
担当者名	輪講（森下）		
開講期	秋	分類	選択
	単位	4	年次
	1・2年		
授業の目標	学校であるいは教育行政の最前線で、ご活躍中の方々や、長年にわたりご活躍されてこられた方々の貴重なお話をうかがうめったにない機会である。この輪講を通して、教育の問題について考察を深めてほしい。		
授業の概要	秦野市教育長をはじめ教育委員会の先生方、小学校、中学校、高等学校の校長先生、教頭先生や元校長先生でいらした方々が、輪講形式で学校現場での取り組みや教育行政の問題についてお話いただくものである。		
各回の授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス（森下）</li> <li>2 児童・生徒の学習権と教育権（高野先生：本学学科長）</li> <li>3 小学校外国語活動について（山口先生：秦野市教委指導主事）</li> <li>4 「教育は人なり」（金子先生：秦野市教育長）</li> <li>5 小学校教育の意義と課題①（吉田先生：小田原市三の丸小の元校長）</li> <li>6 生徒・保護者に対するカウンセリングマインドについて（古屋先生：本町中校長）</li> <li>7 小・中学校における児童・生徒との関係づくりについて（高木先生：市教委教育指導課長）</li> <li>8 小学校教育の意義と課題②（吉田先生：小田原市三の丸小の元校長）</li> <li>9 小学校における教科指導と学級経営について（熊澤先生：市教育総務部参事）</li> <li>10 小学校における社会科教育実践について（杉山先生：北中教頭）</li> <li>11 幼稚園教育について（相原先生：市教委指導主事）</li> <li>12 外国籍児童・生徒の支援について（熊澤先生：市教委指導主事）</li> <li>13 特別支援教育について（桐生先生：市教委指導主事）</li> <li>14 肢体不自由学級での実践について（亀山先生：市教委指導主事）</li> <li>15 学級経営について（桐山先生：市教委指導主事）</li> <li>16 特別活動について（古木先生：市教委指導主事）</li> <li>17 生徒指導について（柏木先生：市教委指導主事）</li> <li>18 高校教育の現状と課題①（近藤先生：秦野曾屋高の元校長）</li> <li>19 「開発教育」の意味と課題（高野先生：本学学科長）</li> <li>20 高校教育の現状と課題②（近藤先生：秦野曾屋高の元校長）</li> <li>21 小学校における総合的学習の実践について（高木先生：市教委教育指導課長）</li> <li>22 適応指導教室について（野田先生：市教委指導主事）</li> <li>23 環境教育について（吉田先生：市教委指導主事）</li> <li>24 人権教育の一視点について（石川先生：市教委指導主事）</li> <li>25 小学校教育の意義と課題③（吉田先生：小田原三の丸小の元校長）</li> <li>26 総括（森下）</li> </ol>		
評価方法	リアクション・ペーパーが 50%、レポートが 50%となる。		
テキスト	なし		
参考書	天野郁夫編『教育への問いー現代教育学入門』（東京大学出版会）		
その他特記事項	ご多忙な先生方のご厚意により開講されるものである。礼儀を欠く振る舞い（授業中の無断退室、私語など）は固く禁じる。		
サービスラーニング 関連内容	外国籍の児童への支援、特別支援教育、肢体不自由学級での実践などを考える回が含まれている。		